

マテリアリティ(重要課題)

2024年度 進捗報告

2025年 6月26日



はじめに

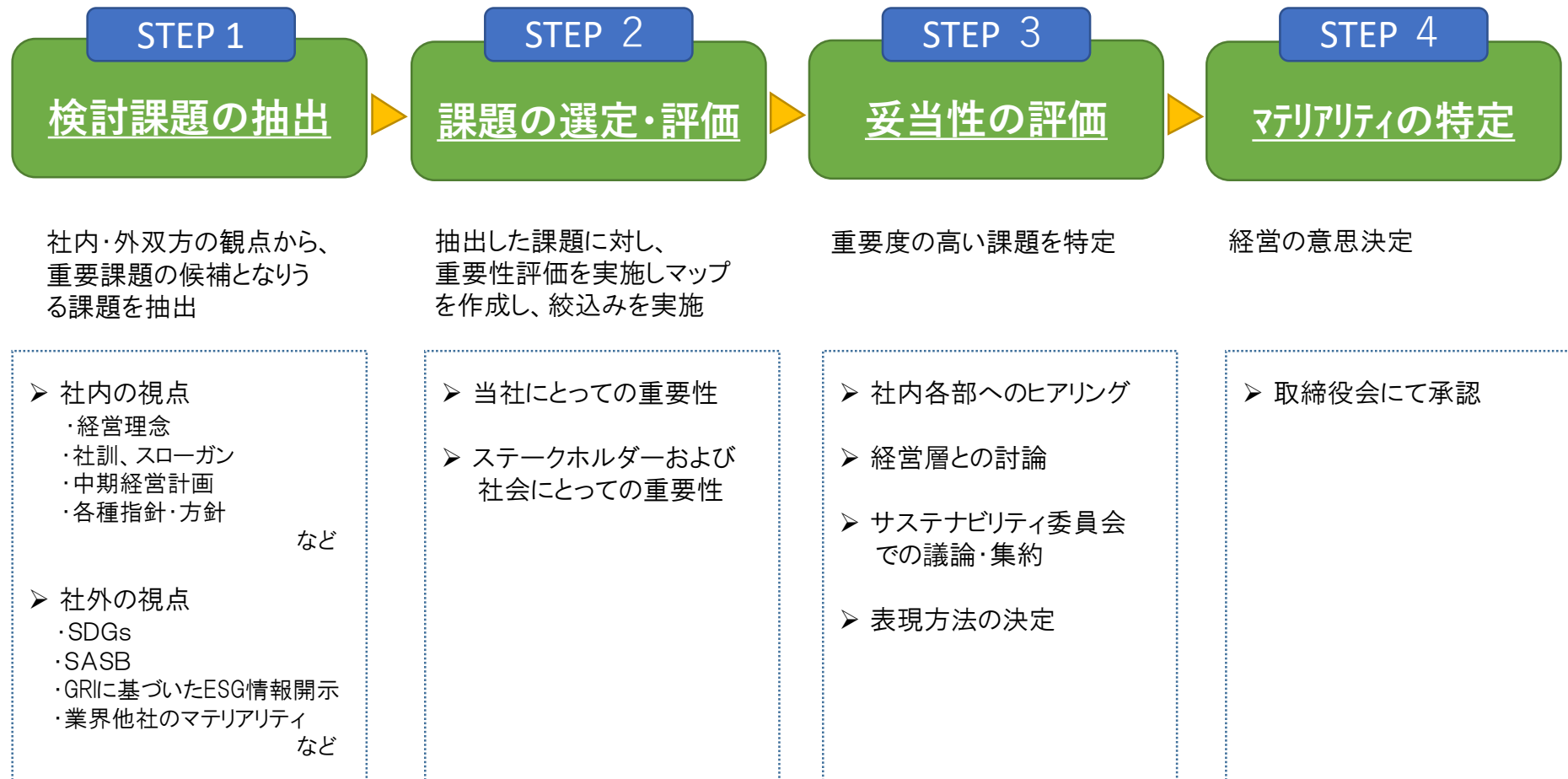
持続可能な社会の実現と持続的な企業の成長にむけて、当社の経営や社内にとっての重要度の視点から取り組むべき優先課題を選定し、重要性や影響度よりマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

当社が取り組むべきマテリアリティは後述のとおりです。当社は、サステナビリティ委員会を中心に、それぞれのマテリアリティについてのレビュー、対応策や計画の策定を含め活動を進めてまいります。

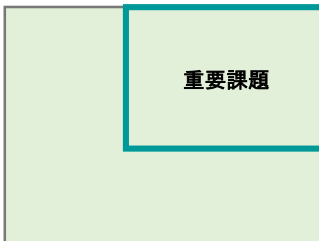
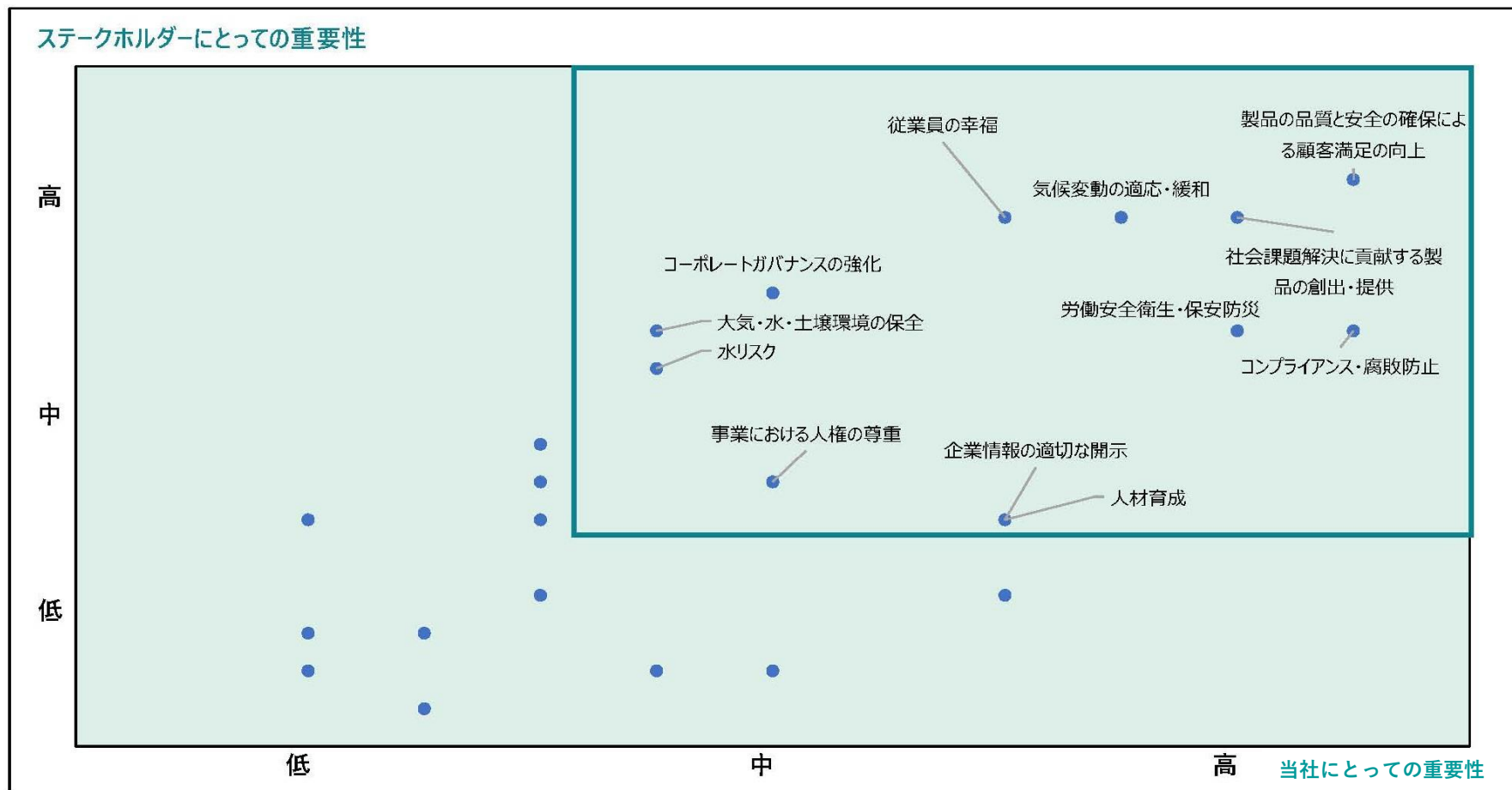


1. 特定プロセス

当社ではマテリアリティの特定にあたり、企業理念および中長期ビジョン、各種指針・方針を起点に社会課題の抽出を行い、ステークホルダーの皆様および当社双方にとっての重要性の観点から、ターゲットとなるマテリアリティを抽出しました。



2. マテリアリティマップ



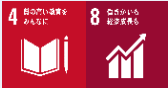
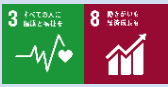
3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 I

マテリアリティ	テーマ 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準	2024年度 主な実績と進捗	評価	2025年度 目標水準
事業を通じた貢献	社会課題解決に貢献 する製品の創出・提供 	社会課題解決に貢献する 次世代研究開発テーマに 独創的視点で取り組み、 培った独自技術を生かした 新製品が提供できている状態	✓投資額 12億円 ✓次世代材料 開発の推進 ✓新規開発品 リリース	✓濃縮ホウ酸生産設備の 整備および改良 ✓フッ化スズ増産 ✓半導体製造工程の改善 につながる薬液 ✓LiB電池の高性能化に 寄与する材料 ✓無機フッ素化合物または フッ素化技術を用いた 製品	✓総額約12億円の投資により 生産能力を23年度比2倍に 増強 ✓生産能力を増強し新たな 顧客との取引を開始 ✓半導体製造工程の改善に つながる高選択薬液を開発 ✓全固体電池用開発材料の サンプル提供・評価 ✓無機フッ素化合物または フッ素化技術を用いた 新規開発製品のサンプル 提供・評価	○ ○	✓半導体製造工程の改善 につながる薬液の提供 ✓LiB電池の高性能化に 寄与する材料の提供 ✓無機フッ素化合物または フッ素化技術を用いた 製品の提供
	製品の品質と安全の 確保による顧客満足度 の向上 	顧客のニーズを捉え高品質 かつ安全性に配慮した製品を 安定供給することにより 顧客満足が向上している状態	✓顧客満足度 (品質) ✓顧客での 安全講習会 の開催	✓2024年 大手顧客上位 20社の顧客満足度を 年間平均最高評価率 50%以上 ✓顧客からの要求による 安全講習会開催 100%対応	✓2024年 大手顧客上位 20社の顧客満足度(品質) 調査による最高評価率 90% ✓顧客からの要求による 安全講習会開催依頼に 対し100%対応	○	✓2024年 大手顧客上位 20社の顧客満足度を 年間平均最高評価率 50%以上 ✓顧客からの要求による 安全講習会開催 100%対応

3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 II

マテリアリティ	テーマ 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準	2024年度 主な実績と進捗	評価	2025年度 目標水準
気候変動への 対応と環境保全	気候変動の適応・緩和  	2050年カーボンニュートラルが達成できている状態	✓Scope1.2 排出量を削減	✓2013年度比で 2030年度温室効果ガス 排出量を46%削減	✓2024年度温室効果ガス 排出量は2013年度比で 18%削減	○	✓2013年度比で 2030年度温室効果 ガス排出量を46%削減
	大気・水・土壌環境 の保全   	事業から排出される化学物質を管理・低減させ、自然環境への負荷を軽減できている状態	✓大気・水・ 土壌汚染の 防止に関する 法令基準値 厳守	✓法令基準値の 超過ゼロを継続	✓設備維持管理および 緊急時対応訓練の 実施により、法令基準値 超過ゼロ	○	✓法令基準値の 超過ゼロを継続
	水リスクへの対応  	効率的な水利用を行い、 排出する水質の向上を図り 水リスクを低減している状態	✓取水量の 削減	✓主要事業所3工場の 取水量を2017年度比で 10%削減	✓2024年度取水量は 2017年度比で17.1% 削減	○	✓主要事業所3工場の 取水量を2017年度比 で10%削減

3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 Ⅲ

マテリアリティ	テーマ 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準	2024年度 主な実績と進捗	評価	2025年度 目標水準
働きがいのある安全 な環境の構築	従業員のWell-being 	従業員のワークライフバランス が実現され、働き甲斐を感じて いる状態	✓有給休暇 取得率 ✓育児休業 取得率 ✓再雇用率	✓有給取得率80%以上 を維持 ✓男性育児休業取得率 50%以上 ✓定年退職後の再雇用は、 現行の高水準 (80%以上)を維持	✓有給取得率:89% ✓男性育児休業取得率: 120% ※2023年度対象者が 2024年度に取得したため 100%を超えています。 ✓定年退職後の 再雇用率:100%	○	✓有給取得率80%以上 を維持 ✓男性育児休業取得率 50%以上 ✓定年退職後の再雇用 は、現行の高水準 (80%以上)を維持
	人的資本の強化 	研修や資格取得により、 従業員の仕事に対する意識や 知識、技術が向上している状態	✓研修 ✓平均年間 給与(男女)	✓社外研修・講習、 資格講習、社内研修の 計画的な受講 ✓基本給・賞与合計の 男女賃金差異90%以上 を維持 (正規雇用・男性を100% とした場合)	✓研修受講率:100% ✓24年度 男女賃金差異 87%	△	✓社外研修・講習、 資格講習、社内研修の 計画的な受講 ✓基本給・賞与合計の 男女賃金差異90%以上 を維持 (正規雇用・男性を100% とした場合)
	労働安全衛生 ・保安防災 	従業員が安全かつ健康で 働ける状態	✓労働災害 度数率 ✓強度率	✓【度数率1.25】 ✓【強度率0.08】	✓度数率:0.00 ✓強度率0.00	○	✓【度数率1.25】 ✓【強度率0.08】

3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 IV

マテリアリティ	テーマ 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準	2024年度 主な実績と進捗	評価	2025年度 目標水準
人権の尊重	事業における人権の尊重 	サプライヤーを含め、人種、性別、民族、国籍等の事由による不当な差別をせず、人権を尊重し事業を実施できている状態	✓差別・ハラスメント防止の取組の実施 ✓人権方針の策定	✓差別・ハラスメント防止、人権に関する定性的な取組みを推進 ✓人権方針の策定・公開	✓差別・ハラスメント防止、人権に関し定期的に社内周知を実施。 ✓人権方針を策定しホームページで公開	○	✓差別・ハラスメント防止、人権に関する定性的な取組みを推進
企業価値を高める ガバナンスの強化	コンプライアンス・腐敗防止 	従業員がコンプライアンス・関連法規を認識・遵守できている状態	✓コンプライアンス違反件数	✓コンプライアンス重大違反件数:0件	✓2024年度コンプライアンス重大違反件数:0件	○	✓コンプライアンス重大違反件数:0件
	コーポレートガバナンスの強化 	迅速に経営意思決定が実施され経営の健全性が確保されている状態	✓コーポレートガバナンス強化に関する定性的な取組み	✓取締役会の実効性評価(第三者評価) ✓社外取締役選定基準の明確化 ✓情報セキュリティ重大事故件数:0件	✓社外取締役の女性比率向上、経営経験者就任 ✓2024年度情報セキュリティ重大事故件数:0件	△	✓取締役会の実効性評価(第三者評価) ✓社外取締役選定基準の明確化 ✓情報セキュリティ重大事故件数:0件
	企業情報の適切な開示 	ステークホルダーに対し、迅速かつ正確に期待される情報を開示している状態	✓情報の適切な開示	✓日英同日同時開示 ✓サステナビリティ情報の開示	✓日英同日同時開示の対応 ✓有価証券報告書の記載拡充	○	✓日英同日同時開示 ✓サステナビリティ情報の開示